

■第 10 回精神障害者自立支援活動賞（リリー賞）受賞者 【支援者部門】

四日市市の教育委員会・保健所・医療機関が連携して子どもの心の健康を支援

YESnet(四日市早期支援ネットワーク) 【三重県四日市市】

子どもの心の健康をサポートするために四日市市の教育委員会、保健所、医療機関が2009年6月よりネットワーク(YESnet)を構築し、児童・生徒だけでなく、教職員や保護者への啓発、相談などに取り組んでいる。教育委員会をはじめとする教育・保健・医療 3 機関が地域で連携して子どもをサポートする体制は、全国的にも珍しく画期的で、子どもたちの心の健康を多方面から支援する窓口を設けている点や、若者に対する心の健康づくり・セルフケアの啓発などが高く評価された。

●教育・保健・医療 3 機関の連携による支援

「どうしたらいいのかわからない」「これでいいのか」。

四日市の小中学校からの児童・生徒の心の健康についての相談は、四日市市教育委員会(教育支援課)が集約している。包括的支援が必要と思われる事例については、保護者の承諾を得た上で、学校の教諭も出席し、事例検討会を行い、支援プランの検討を行う。教育・保健・医療の専門家らが様々な視点から、“学校ができること”、“関係機関ができること”を整理することで、適切な支援の方向性が見えてくるといふ。YESnet を利用した教諭からは「子どもに対して自分に思い込みがあり、柔軟性に欠けていたことに気付かされた」などの声が寄せられている。



四日市市の教育委員会、保健所、医療機関によるネットワーク「YESnet(イエスネット)」担当者ら

●出前授業で伝えたい「ひとりで悩まないで」

生徒が心の不調を感じたときに、誰かに相談するなど適切な対処が取れるようになってほしいという思いから、希望する学校に対して、ストレスの対処法や相談の大切さを伝える出前授業を実施(2013年現在:中学校11校・生徒2,606人)。「いまの子どもたちのストレスフルな状況を感じた」という小学校教諭からの要望を受け、小学生向けの出前授業の取り組みも開始した。また、四日市市保健所では既存の「こころの相談窓口」のほか、思春期専門相談も設けて相談を呼びかけている。



出前授業について、事前に教諭らに意見や要望を伺い、内容を組み立てている様子

●「一緒に考えてほしい」学校の要請に応じて出前相談も

毎月開いている連絡会議には、教育委員会(教育支援課、学校教育課、指導課、適応指導教室)の担当者や、保健所の保健師、医療機関の精神保健福祉士、看護師らが参加。医療機関で用いられていても、教育現場にそぐわない言葉は言い換えるなど、相互理解を得られるよう工夫しながら活動に取り組んでいる。

教育委員会 教育支援課の村山久子さんは、「今後はYESnet 活用の流れをさらに整え、柔軟な対応で連携を活かした支援をしていきたい。一緒に考えてほしいという学校の要請に応じて、出前相談や出前研修を今後も実施しながら、活動への理解につなげていきたい」と話す。



教育・保健・医療 3 機関による連絡会議

【YESnet(四日市早期支援ネットワーク) WEB サイト】

http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/nc3/htdocs/?page_id=43